

第13号

群大病院 地域連携だより

病院の理念

患者さん中心の医療を推進する

基本方針

- 一. 先進医療の開発と実践
- 一. 次代を担う医療人の育成
- 一. 地域医療への貢献

地域連携だより

患者支援センター長 酒巻哲夫



日頃から医療連携の推進にご協力をありがとうございます。今回は、群馬大学医学部附属病院医療統計 2010 を発行しましたので、その中から癌の統計に関することを幾つかご紹介いたします。

2010 年度の当院の入院総数は 11,618 件(重複した入院があるため件数で示します)ですが、そのうち ICD-10 分類でいう新生物(C00~D48)の患者さんの入院は 4,778 件(41%)でした。

この分類にあたる患者の平均在院日数は 18.0 日で、1 カ月以内の入院が 85% を占めます。

男女比は約 57 対 43 ですが、年齢階層別の分布を見ると、男性は 50 歳代から著しく増加し、60 歳代および 70 歳代に大きなピークがあります。一方、女性のピークは 60 歳代で、男性の半数程度ですが、30 歳代および 40 歳代の入院件数は男性の倍以上の入院件数になります。これらは、乳がんなどの発症が 30 歳代から著しく増加することと関連しているものだと思います。

ちなみに部位別の悪性新生物統計は、2009 年度のものからの引用ですが、前立腺 12.1%、乳房 11.2%、胃 7.7%、肺・気管 7.6%、子宮頸 5.9%などが上位を占めます。

これらの患者さんの相当数が退院後に化学療法を受けており、月毎の外来化学療法センターの利用件数は 900 件前後で推移しています。センターの拡張工事を検討しなければならない状態です。

また、2010 年度の重粒子線治療実績は試験的稼働ということもあり、前立腺癌 76 人、肺癌 7 人、肝臓癌 4 人、骨軟部腫瘍 3 人、頭頸部腫瘍 2 人でした。2011 年度は当初の予定数を越える見込みになっています。

これらの紹介の元となった医療統計の冊子は、まもなく皆様のお手元に届くと存じます。ご入用の方は当院の医療サービス課にお問い合わせください。

さて、今年も、第二回群馬大学医学部附属病院地域医療連携施設交流会を 12 月 8 日(木)18:00 から前橋商工会議所で開催する予定です。群馬大学と医師会の先生方との活発な交流ができますよう準備しておりますので、多くの先生方のご参加をお願いします。

私たちといたしましては、これまでも増して地域連携を密に行うよう、様々な計画を現在練っているところです。特に、皆様にご紹介いただきました患者様の当院での治療内容などを例にした地域医療カンファレンスを 2 月に一度程度開催できるよう企画しておりますことをお知らせして、今回の連携だよりを締めくくりたいと思います。

群馬大学医学部附属病院
患者支援センター(連携担当)

〒371-8511 前橋市昭和町三丁目 39 番 15 号

電話 027-220-7733

FAX 027-220-7777

患者支援センターホームページ

<http://kanjasien.dept.showa.gunma-u.ac.jp/>



第 2 回地域医療連携施設交流会を開催します

12月8日(木)、前橋商工会議所ローズの間及びサクラの間において、地域医療連携施設交流会を開催します。これは当院が地域に根ざした病院として、地域の医療機関との前方・後方連携をさらに深め、現在までに登録いただいた地域医療連携施設との間の相互理解、意見交換などを目的としたもので、群馬大学医師会との共催及び群馬県医師会からの後援をいただき、昨年度に引き続き2回目の開催となります。

交流会 I 部では野島病院長の挨拶に続き、鶴谷嘉武群馬県医師会長、中屋光雄前橋医師会長から来賓挨拶をいただき、患者支援センターの活動報告、当院が進めている入退院センターの設置、がんパスについて情報提供を行う予定です。その後意見交換を行い、引き続き交流会 II 部では懇親会としまして、地域医療に関わる活発な議論及び意見交換を行う時間を設けております。

昨年度、当院において地域医療連携登録制度を発足したところ、群馬県医師会をはじめ各郡市医師会のご協力のおかげで、現在 570 件の群馬県内医療機関から地域医療連携施設の登録をいただいております。今後も当院における地域医療連携体制の整備を進め、ご登録いただいた地域医療機関のご協力のもと、群馬県地域医療の発展に貢献していく所存です。



市民講座

市民講座 「がんと一緒に働こう」 —働きながら治療を続けるために— 患者と職場ができること

群馬大学医学部附属病院では、平成23年6月18日(土)に群馬会館において群馬県のがん対策推進をめざし、患者、家族、群馬県がん診療連携拠点病院の医療者、行政担当者の交流や意見交換を行うため市民講座を開催いたしました。

当日は、キャンサーソリューションズ(株)代表取締役社長であり、NPO法人HOPEプロジェクト理事長、一般社団法人CSRプロジェクト理事として、がん経験者・家族支援活動を行っている桜井なおみさんを講師にお迎えし、「がんと一緒に働こう」と題した特別講演を行いました。

講演後は、患者さんや家族、一般市民、医療従事者らによる交流会を行い、100名以上の方が集い、おしゃべりや意見交換を行うことが出来ました。

日時 平成23年6月18日(土) 13:30~16:00 (開場13:00)

場所 群馬会館 (群馬県庁前)

●がんに強いぐまを目指して 一群馬県がん対策推進条例の制定—
群馬県保健予防課 がん対策推進主監 岡部 清氏

がんと一緒に働こう
—働きながら治療を続けるために— 患者と職場ができること

特別講演
NPO法人HOPEプロジェクト理事長
一般社団法人CSRプロジェクト理事
キャンサー・ソリューションズ 代表取締役社長 桜井なおみ氏

内容

- がん患者が体験する仕事の問題
- 退職がもたらすお金の問題と孤独
- 治療しながら働くコツほか

乳がん治療のための通勤を再開しきれずに自傷の体験をきっかけに、がん患者の職場復帰支援活動中

●交流茶話会
患者、家族、一般市民、医療従事者によるおしゃべり交流会

費用 無料 **申込** 不要 (当日、直接会場にお越しください)

駐車場 県庁駐車場をご利用ください

【問い合わせ先】 群馬大学病院医療サービス課 TEL.027-220-7854

協賛 日本医師会生涯教育推進部認定5年単位 (カリキュラムコードR5.7.12.13.14)

主催 国立大学法人群馬大学医学部附属病院/群馬県

後援 群馬県がん診療連携拠点病院連絡協議会/群馬県がん患者団体連絡協議会/がんプロフェッショナル養成プラン

協賛 群馬県医師会/財団法人 群馬県健康づくり財団/群馬県看護協会/群馬がん看護研究会

診療体制の変更について



○核医学科初診診療体制の変更について

当院核医学科では、平成23年8月から原則として、木曜日の初診対応は、アイソトープ治療目的の初診の患者さんの対応を中止し、IVR治療及び画像診断目的の患者さんのみとさせていただくこととしました。

なお、月曜日は従来通り、初診はアイソトープ治療、画像診断、IVR治療と全分野の対応が可能です。再診に関しては、月曜、木曜とも従来通りの対応となります。

大変ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

入院患者さんの情報提供についてのお願い

厚生労働省の定めた診療報酬点数制度による診療の費用の算定のため、貴院入院中の患者さんが群大病院を外来受診する際には、患者さんの氏名等の基本情報とともに、「入院医療機関名」、「算定されている入院料」、「入院診療科」、「入院開始日」の情報を記載した用紙を、群大病院初診・再診に関わらず、患者さんの来院ごとに毎回持参していただきますようお願いいたします。

当院周産母子センターNICUの改修に伴う 産科病棟・小児病棟の入院制限について

当院では8月から約4ヶ月間にわたり周産母子センターNICUの改修を行い、より充実した診療体制を整備しております。この間NICUの診療は、小児病棟の病室で規模を縮小して行い、改修期間中は、当院への産科患者さん、新生児を含めた小児患者さんの入院に制限が必要になる場合もございます。

貴院の関連診療科におかれましては、改修期間中は大変ご不便をおかけするものと思われま。職員一同、可能な範囲で入院の受け入れに努める所存ですが、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



群馬大学医学部附属病院



なごみサロン



がん患者さん・ご家族のためのサロンです

同じ悩みを話したり聴いたり、泣いたり 笑ったり
一人で悩まないで、ちょっと寄ってみませんか？
こころが和むかもしれません・・・

会員制ではありません、申し込みもいりません
当院を受診していない方も参加できます

開催日：毎月最終水曜日

開設時間：13時～15時

場所：外来棟1階 患者支援センター

はじめての方でも気がねなく参加していただけます。

お気軽に立ち寄ってみてください。

問い合わせ：患者支援センター 富田 (027-220-7858)

開催日時については、
患者支援センターホームページでご案内しています。